

ORIENTEERING JAPAN

'95 / 8

# O JAPAN

Navigation across Country

1995年 [平成7年] 8月10日発行

(毎月1回10日発行)

第12巻第8号通巻第145号

昭和63年6月24日第三種郵便物認可



# Lembolovo DAY - 1







# Veteran World <sup>up</sup> '95

Scale 1:10000

Contour interval 5 m

H55-A

**LEGEND**

-  small plane rectangular artificial knoll of less 1 m
-  trench from the Second World War of 0.8 - 1.5 m
-  ruined dugouts from the Second World War of dc
-  specific vegetation feature, usually a single tree
-  specific artificial feature
-  barbed-wire obstacles from the Second World W





95/8月号・No.145 目次



＝ SQUAD REPORT ＝	報告・桐田 幸宏	… 4-5
・ WM95 ドイツにて開催	がんばれ日本選手団	
＝ オリエンティアのための Medical Advice ＝		… 6-7
・ 時差ぼけ対策	愛場 庸雅	
＝ ベテランズ ワールド カップ '95 ＝		… 7
・ ロシア ～未知との遭遇～	高尾 昭次	
＝ 阪神大震災 ＝		… 8-10
・ 義援金を寄せていただいたみなさまへ	感謝！感謝！	
＝ 投稿 ＝		… 10
・ ゴールデータを電波で計算センターへ送る試み	所沢 OLC・山西 一徳	
＝ 全国PC愛好会のページ ＝		… 11-18
・ パーマネントコース りぼ～と	大高 竜亮, 木佐木輝雄, 富田 徹	
＝ お知らせのページ ＝		… 20
・ スキー・オリエンテERING世界選手権大会		
「日本代表選手選考会参加者募集」	日本スキー・オリエンテERING研究会	

■今月の表紙：CANADA '95「カナダオリエンテERING フェスティバル」3日目の ヨーティクス競技（7月17日＝カナダアルバータ州）での、井上直子さん＝北九州 OLC＝のゴール。後ろは ディック・ワックワック氏（あの WOC85 10位の テッドの父君）

[撮影：編集部]

■今月の地図 [2・19ページ]：5月29日から6月2日にかけて、ロシアのセントペテルズブルグ近郊で開催された「ベテランズ ワールド カップ」での使用地図。本文 7 ページ 高尾昭次氏の リポート 参照。

[提供：平山 暢二氏]



マスターマップもまた楽し



## STREAMER

小誌編集部（と言っても編集は普通の勤め人が一人で、会社勤めの合間を縫って作業、大方は桐田氏にオンブしている情けない状態）には、各都県協会やクラブから熱心にその機関紙や会報を送っていただいています。感謝いたします。今日も、このコラムのネタ探しにと、各紙に目を通していたら、村越氏編集の「OLC静岡」に「普及を考える」という記事に興味を持ちました。OLC普及に関して、7月に行なった0-フェスティバル in 静岡での懇談会のレポートですが、伸び悩みの原因のひとつに、「マニアック化」していることが挙げられています。編集者もカナダ旅行の説明のため、5・6月にめずらしく2つほどの（学生）大会会場にお邪魔しましたが、学生以外の参加者はやはりここ数年間同じ顔ぶれのように見受けられ、全くみなさん手慣れた参加の仕方、運営側も基本的なマニュアルどおり、人手の多さもあってかスムーズに流れていました。両大会とも、あまり天候に恵まれなかったこともあってか、初心者やファミリーの参加は少ないようでしたし、学生クラブにこのようなことを要求するのは、筋違いなので、一般的に、大会開催と普及との関連について考えてみたいと思います。

まず、大会会場となる地元へのPR、参加呼びかけを徹底的に行なっているでしょうか。その時、「大会要項」では無く、初心者やファミリーにも分かりやすい、いかにも参加したくなるような「お誘い」のチラシを別に作るべきです。あの、特に公認大会の要項にトリム-O（この言い

方ではなく、レクOとかマップ・ハイクとかが良いのではという私の意見は6月号で述べた）への参加の仕方などを一緒に刷り込むことはやめるべきです。オリエンティアでさえウンザリするような、文字のギッシリ詰まっていた、読んでもチンプンカンプンな「要項」など、地元の人達に配ってもあまり意味がないのだから、別刷りでPRすることが「お誘い」の一助になるのではないのでしょうか。

次に、参加申込み方法の難しさです。初めての人には「当日、ブラリと来てください」程度で十分。もちろん、マスターマップ方式で、その「写す」面白さも味あわせてあげてください。競技では無く、周りの景色と地図をのんびりと見比べながら歩く（走る）楽しさをまず提供しましょう。今も行なっているかも知れないが、最初の2～3ポストまで付いて指導することも、良い方法。また、オリエンティア達が「競走」していることに、まともと深く「オリエンテERING」を知りたいと興味を持った人達には、その日のコースを振り返ったり、大会や講習会（指導者講習会よりも、初心者講習会をもっと各地で企画すべきで、これこそ大会に併設してもよい）の情報を与えてあげることです。クラブへの入会も奨めるとよいでしょう。つまり帰って来てからのアフターケアも必要です。

大会ができるほどのテレインがあるのですから、その地元への指導、そこでのクラブづくりの手伝い、といった「マーケティング」戦略を考えるべきです。

いずれまた書かせていただきます。

&lt;流人&gt;



# すこーど SQUAD REPORT

WOC SQUAD JAPANは強化選手をサポートしています

## WM95 ドイツにて開催 がんばれ日本代表選手団

8月5日、日本代表選手の多くがドイツに向かって旅立った。WM95は8月20日にその幕を閉じる。本誌が届くころには選手団も帰国していることだろう。成績速報はE-mailやパソコン通信で流布されていることと思う。本誌での、結果報告ならびに選手の感想談などは次次号(10月号)にて掲載する予定である(次号では速報のみお届けします)。

遠征に先立ち、国内では壮行イベントがいくつか開催されている。関西では、鈴木康史選手の、またハッ岳では恒例のリレー大会がそれぞれチャリティ大会として開催された(右頁)。またSQUADは例年通りその賛助会員を募り、遠征費用の一部負担を行っている。

代表選手団はこの2か月間で3回の強化合宿をこなしていった(6/17・18 7/8・9 7/22・23)。6月の合宿では選手の多くが熊と遭遇したという。村越選手危機一髪の様子は、本誌先月号・ご本人投稿の「The Orienteering World's Scape」に詳しく紹介されている。全員ご無事でなりよりだった。ドイツでも強運とご健闘をお祈りしたい。吉報を待とう。

### WM95報告会のお知らせ

9/9~10の長野県2日間大会の1日目(6人リレー大会)が終わった夜、WM95の報告会を行います。

日時：平成7年9月9日(土) 夜  
場所：「紅葉園」(千人塚公園内)  
参加料：一泊夕食付 4000円  
報告会のみ 500円

お申し込みはお早目に(定員になり次第締切)。  
申込先：元木悟 0263-28-5127

強化選手紹介・私を覚えるよな!

### 金田収子



94年度のインカレ個人戦champである。インカレは、1年生の時にDFA優勝で華々しくデビュー。以降3年連続のDE入賞を飾り、勝負強さが光った。

しかし「一番勝ちたかったときには勝ってない」。一番勝ちたかったという団体戦。3年生の時アンカーの自分が逆転されて優勝をのがした。4年生の最後の団体戦も勝てなかった。「ここで私が頑張ればというところでもいつも負けちゃう。自分が崩れていく」。本当に勝ちたいとはっきり意識したときは負けちゃうという。逆に勝ちを意識しないで、精神的に追い込まれたときの並はずれた集中力は自分でも認めているようだ。

この周囲から見える評価とのギャップも、収子を語る上で見逃せない。

同じ静岡大の中野宏美を始め、ライバル視された同期の粒は全国にそろっていた。収子自身は「ライバルという考え方がよくわからない。そのとき勝った人が一番速い」という。そんな収子に「単に外に見せないけれども、努力してないように見えるのにムチャクチャ速い」と同期が語る。

自分が知らないだけで、見えないところで努力をしていたのではないかという疑問。オリエンは下手で足が先行しているのかと思えば、いや天才タイプかもしれないとも思ってしまう。似ていると思われるタイプのランナーとも実は似ていない。こんな神秘性が、金田収子の何ともいえない魅力をかもしだす。

早くから、全日本champ(当時)村越真のコーチを受ける。収子2年生の冬からだった。「2年でインカレのトップレベルにできるはず。もたもたしないでさっさと成長させよう」と村越さんは考えたという。収子を育てていったその過程は、彼の著書「オリエンテリングのためのコーチング方法序説」に表現されていく。彼女を通しての方法論の模索と、オリエンテリングに何が大事かを考えることができた村越さんは語る。

そして収子のことをこう言いきった。「逸材ですよ。あの程度のトレーニング量でよくWM選手になれた」。吸収力が速く、何が大事かを把握する力はすごかったという。しかしあの程度のトレーニングでこんな結果がでちゃっていいの?という複雑な心境もあるようだ。それは収子への非難ではなく、日本の女子レベルに対する失望感であるという。

収子が本当にトレーニングを怠る選手だったのかどうかは筆者にもわからない。でも本当に素質だけだったのか?「ひどいレースはいっぱいあったんですよ。そういう中から、どうすればいいんだろうっていうのは人一倍考えたと思うんです」。収子なりの努力はそれなりに影にあったに違いない(走るトレーニングはあまりしなかったにしても)。「同じようにやれば他の人もできると思うんですよ。どうしてそれをしないのかなと思うこともあるし」。そんな収子の姿勢が収子を育てていったのかもしれない。

ボーッとしているように見える彼女の奥にあるものを、これからもあたたかく見つめ続けていきたい。

昭和47年6月15日、北海道に生まれる。父親の転勤で道内を転々とした。3人姉妹の真ん中。家族はみんな運動が好きだったという。物心ついたら走っていた。野球をやったというお父さんと姉妹3人でよく走りに出かけたようだ。

中学時代はソフトボール、高校(北海道立旭川東高校)時代は陸上部。400mとやり投げをやっていた。全道大会に参加したともいうが実力の程は定かでない。

静岡大学入学。上が見えている陸上部に入る気はなかった。走るのをひねったものがいいなあと思って出会ったのがオリエンテリング。熟読したという体育会の冊子の中には「全日本チャンピオンがコーチにいる」と書いてあったらしい。中途半端でないことは入部前から感じていた。そして村越さんとの、間接的ではあったが最初の出会いであったといえる。

クラブに顔を出したら、部員がものすごく喜んでくれた。「今日午後までですか」、そのまま日本平へ行ってオリエンやって富士山見て、「静岡でパフェと言えよ」と言うところへ行ったら、カラオケにも行って、その日帰ったら0時だった。その後も毎日のようにお誘いが多かったという。夜10時に電話があって「今から富士山行くよ」といった調子だったようだ。金田収子の入部はかくして決定的となった。

多くの素晴らしい先輩やコーチに恵まれ続けた中で、収子の華やかな4年間は終わった。そして今年、WM95の日本代表へ。就職先の会社もすでに退社した。今や頭はドイツに行っていることだろう。

来年以降のことはまったく不透明。まだまだ華やかなオリエンティアであって欲しい。

頑固なのかもしれないが、とってもかわい。全国に多くのファンが存在している(はずである)。

## 鈴木康史選手 壮行会

95.7.16 京都『将軍塚』

関西では中村弘太郎選手以来4年ぶりの日本代表となった鈴木康史選手。この3月は全日本大会でもH21E3位の好成績を収め、選手生活の絶頂期を迎えている。代表が決定した5月28日には吉報が関西を駆け巡った。

壮行会は彼が所属する朱雀OKにより（寺嶋一樹氏により）企画され、当日多くの参加者を集めて盛大に開催された。形式は、自己申告制のハンデをつけてのポイントOL。鈴木選手が最後スタートして参加者を追撃した。大会終了後は祇園祭でにぎわう京都・四条河原町にて壮行コンパも催され、鈴木選手への熱いエールが送られた。



表彰式にて挨拶をする鈴木選手（左端）

## チャリティー壮行リレー

95.7.23 八ヶ岳・泉郷

WM95の日本代表選手壮行チャリティーリレーOL大会が、SQUADとR.M.Oサービスの共同主催で開催された。

3人リレーの3コースを代表選手は1人で走り、参加者は代表選手に挑戦する。演出的要素も濃い形式が採用された。男子は、村越・鹿島田の両エースが実力を示し上位の2つを占めたが、入江・加賀屋の両選手は、「打倒鹿島田浩二」チーム（山本英勝・元木悟）に敗れた。女子は、富士選手と金子選手が3走分を完走したものの、他の代表選手は無理をせず男子ランナーの助けを借りていた。完走した中では富士選手が好調な仕上がりを見せていたようだ。表彰式では代表選手を破った優秀チームなどが表彰された上、代表選手と一緒に記念撮影を行った（右の写真）。



WM95日本代表選手と、チャリティー走行リレー上位入賞チーム

会計報告によると、収支の差引13万円に加え、大会経費から賛助会費として2万円を捻出し（タダ働きをして）、計15万円をチームの遠征費の一部にさせていただいた。その他、一般の賛助会費などにより選手団に当てられた費用については、別途報告したいと思います。

### 上位成績

#### Lクラス

1. 村越真	村越真	村越真	1 : 39 : 18
2. 鹿島田浩二	鹿島田浩二	鹿島田浩二	1 : 44 : 03
3. 山本英勝	元木悟	山本英勝	1 : 48 : 04
4. 入江崇	入江崇	入江崇	1 : 48 : 39
5. 加賀屋博文	加賀屋博文	加賀屋博文	1 : 54 : 43

以下完走26チーム

#### Sクラス

1. 藤井範久	山岸倫也	藤井範久	1 : 30 : 32
2. 金田収子	落合公也	金田収子	1 : 40 : 20
3. 富士淑子	富士淑子	富士淑子	1 : 41 : 13
4. 田島利佳	吉田勉	田島利佳	1 : 41 : 34
5. 宮本知江子	宮本幸治	宮本知江子	1 : 43 : 05

以下完走14チーム

## APOC日本代表選考について

96/1に開催されるAPOC96の代表選考に関し下記の点を補足します。

- ・筑波大会をポイントの対象大会からはずします。  
（対象は、エリートポイント対象大会の前半4つの大会となります）
- ・リレーは男女とも2チームずつエントリーする予定です（リレーメンバーが日本代表選手となります）。
- ・個人戦選手権は選考を行いません（だれでも出場可。人数制限なし）
- ・日本代表の希望者は稲葉氏までご連絡ください。

稲葉英雄 0564-55-5602 期限：9月15日

SQUAD広報担当 桐田幸宏

# オリエンティアのための Medical Advice

OLCレオ愛場 庸雅

## 時差ぼけ対策

海外でのオリエンテーリングの好きな人にとって楽しい季節がやってきました。今年もヨーロッパ、カナダなどいろいろなイベントがあるようです。ところで海外遠征となるとどうしてもついでまわるのが「時差ぼけ」の問題です。これは海外旅行に慣れた人でも悩まされるようですので、今回はその対策についての話です。今回の話は主に、万木良平著「運動と時差」、スポーツ医学読本（からだの科学、増刊18号）75-80, 1986から引用させていただきました。

ヒトの体の機能の多くは、ほぼ24時間を周期とするリズム性変動をしており、昼は活動、夜は休息、鎮静というように、代謝機能、体温、脈拍その他が変化しています。このリズムを形成する因子としては、環境、食事、時計、仕事、休養、睡眠などがありますが、これらを取り去っても自発的なリズム発生装置、いわゆる生体時計があることが知られています。通常はこの環境リズムと生体リズムがほぼ同期しているのですが、3時間以上の時差のある地域へ移動すると、環境リズムと生体リズムが一致せず、非同期症候群いわゆる時差ぼけが発生します。

その症状には次のようなものがあります。

- (1) 睡眠障害（寝付きが悪い、目が覚めやすいなど睡眠と覚醒のリズム障害）
- (2) 胃腸障害（食欲不振、胃の不快感、悪心、便秘など）
- (3) 頭痛、視力調節機能低下、耳鳴り、めまいなど
- (4) 疲労感、精神機能低下、いらいら、不安感、不快感など

これにはもちろん個人差があり、時差の大きさや旅行形態により差があります。その発現に影響する因子としては、

- (1) 時差の大きさ（±12時間の時が、最も症状が激しい）
- (2) 乗り物の速度（ゆっくり動くものほど影響が少ない）

- (3) 東回りか西回りか（同じ地域、時差なら東回りの移動の方が疲労感が強いと訴える人が多い。東回りでは時間の流れが早く、西回りではゆっくり経過するという感覚的相違によるものといわれている。）

といったことが挙げられています。

ところがヒトの体は良くできたもので、現地で数日過ごすうちに、徐々にその環境に同期したリズムに順応する能力を持っています。いったいこれがどの位で完全に適応するようになるのかということ調べるため、次のような実験が行われました。日本から、-8時間の時差を有するモントリオール（カナダ）へ移動したと仮定し、生活の全てをモントリオールでの生活リズムとして、生体機能



を測定しました。そしてその結果に基づいて、モントリオール五輪出場選手団に勧告がなされました。実験の実際は省略しますが、時差が±8~10時間の地域では、表のような結果になっています。もちろんこれには個人差、多少の変動はあります。

日数	同期化の進行	競技の可能性	自覚症状	身体機能
1日	リズム乱れ期	調整期（激しいトレーニングや試合は好ましくない）	眠気、食欲不振、反応遅鈍	筋力、瞬発力など低下
2日			眠気解消、食欲回復	
3日			自覚症状とれる	
4日	同期開始期	練習競技可能	次第に平常状態に回復	平常状態に回復
5日				
6日				
7日	同期進行期	競技可能	次第に平常状態に回復	平常状態に回復
8日				
9日				
10日	同期完了期	最良の競技成績を期待できる	次第に平常状態に回復	平常状態に回復
11日				
12日				
13日				
14日	遠征疲労期	競技終了（成績は時差と直接関係なし）		
15日				
16日				

- (1) リズム乱れ期

到着日から3日間は、出発地と到着地のリズムが入り混じって、正常リズムに乱れが生じる。この時期には競技試合はもちろん、激しいトレーニングをすることは好ましくない。

- (2) 同期開始期

到着日から4~6日間は、次第に到着地のリズムに同期適応してゆく時期である。体調を考慮すれば、トレーニングを

強め、練習競技や試合は実施可能である。

- (3) 同期進行期

到着日から7~9日間は、同期がさらに進行する時期である。試合、競技は可能である。

- (4) 同期完了期

到着日から10~14日間は、人体リズムが完全に現地時間に同期を完了する時期であって、この時期には、競技、試合に

## ロシア～未知との遭遇～

百聞は一見にしかず

16年ぶりのスカンジナビア地形で、しかも未知のロシアでのオリエンテーリングと聞いて、胸さわぎがしてきた。過去のランナーとはいえ、6～7分台/kmでレースができれば最高で、ベテランとなれば8分/kmが目標である。技術も走力も落ちたことだし…

アエロ・フロート（ロシア航空）は、以前山岸倫也氏と乗った16年前とは雲泥の差で、エアバスに日本語のアナウンスまで流れる。冷房から水滴がたれてくることもなければ、機内食のフォークやナイフも使い捨てプラスチックになっていた。ロシアは変わった。…と思いきや、

モスクワ・シェレメテフ国際空港での歴史的な第一歩。やはり、ロシアはこういうものなのだろうか。トイレの紙はビショビショで使用不可。黄ばんだ便器。しかし、温風機が流しのわきについているのには感動。入国検査で2時間以上もの

✓  
最も良い成績を期待できる。

## (5) 遠征疲労期

到着から2週間以降は、多くの場合遠征疲労期にはいるので、なるべくこの時期までに競技を終了させた方がよい。これは時差とは直接関係ない。

以上の研究結果をふまえて、モンテリオール・オリンピック出場選手団に対しては、

- ①到着日を入れ、競技8日前には現地に着き、4日間は過激なトレーニングを避けること。
- ②現地到着は午前とし、当日は昼寝を禁じ夜間に熟睡させること。
- ③同期化促進のため、食事、起床時間、就寝時間を現地時間に合わせ、練習を競技時間に合わせること。
- ④5日目からトレーニングを漸増、競技日に合わせてコンディションを調整すること。

等が勧告されました。競技終了後のアンケート調査によれば、これらの時差対策は適切であるとの結果が得られたとのこと。

海外遠征をするオリエンティアの皆さんの参考になれば幸いです。

✓ 行列。誰一人として文句を言わず、笑顔もない。なのに、出口では小さな花束を手に待つ恋人や家族。心の寛大さに恐れ入った。

古都ベテルスブルグは100年ぶりの猛暑で27℃。タンポポが一面に咲き、春と夏が一緒に来たようだ。ホテルは一流のところで、湯栓のために持って来たゴルフボールも防寒用衣類も宅急便で送り返したい気分だ。また、物を大切にする国というイメージは、日本は見習わなければならない。何でも捨てて新しい物を買う日本人には想像もつかないだろう。なにしろ、日本で廃車になったJAFのシール付の日産、トヨタ、マツダが、まるで新車のように見えるのだから。ほとんどの乗用車、いやバスも路面電車もさびびて、ほこりだらけで、へこんでいて、ボンコツ同然。修理工場からそのまま乗ってきた車に彼女と仲良くドライブしてるって感じかな。アパートだってスターリン時代に建てられたものをそのまま使っているので、レンガや塗装ははげ、外観はボロボロ。しかし、エレベーターもあるし、内装はカーテンや家具などがきちんとしていて、あでやかな色彩で着飾ったロシア美人が中から出てくると、どうも釣り合わない。

行きかう人々はみんなロシア人で（当たり前か？）、休日のはのんびりと歩いている。我々日本人とすれちがっても、キョロキョロ物珍し気に見るわけでもなく、ごくごく市民の一員としてスーパーマーケットで買い物ができる。我聞せずのマイペースな人種なのかもしれない。

高尾 昭次

歴史を走る、タイムトラベラー

VWCの行われるレンボロボというところは、ベテルスブルグより北へ60キロのところ、フィンランドからもバスで2時間で来られる。町は駅から離れたところにあるらしいが、駅だけ見るとレンボロボというよりはオンボロボという感じだ。窓ガラスの割れた列車が通り過ぎるたびにロシアの香りがする。

1年間に30日しか快晴の日がないというベテルスブルグでは、運よく好天に恵まれ、私たちのために6日間、1年の1/5も太陽は笑ってくれた。

センターとなる会場は森の中で、200mのゴールレーンと罪のないコンテナ・トイレ、消防車のシャワーが設置されている。

モデルコースは凹地とコブの見分けがつかないランナブルな地形で、気持ちよくスピードとあげて走れる。足元には、ふくらみかけたばかりのブルーベリーがぎっしりと群生し、あと1ヶ月もすればヨーグルトを持って走るのが楽しみなぐらいだ。

もっと驚くことがある。それは、このテレインは何と第二次世界大戦の戦場であったことだ。無数に散らばる、深い塹壕地帯。その間を結ぶ縦横無尽の匍匐(はく)路。初めは人工的に作った水路かと思ったが、現在では道としてくっきりとマップに示してある。弾丸や不発弾があったかは定かではない。

=次号へつづく=

オープニング・セレモニーから





## 阪神大震災 義援金を寄せていただいたみなさまへ 感謝！感謝！

### ＜震災後4か月＞

この度の阪神大震災に対し、オリエンティアの皆様は温かいお見舞いと励ましに厚く感謝します。ボランティア活動始め、会社から、市役所からいろいろな形のバックアップをいただいたのですが、オリエンティア仲間からのこのバックアップは、ことのほか嬉しく感じられるものでした。震災から4か月、いまだに余震の続く当地では、元の生活には戻れない落ち着かない日々を送っている人々も多いのです。とはいえ、避難所に長く居たK氏も仮設住宅に引っ越し元気ですし、先生の家に避難していたH君も元の家の近くにマンションがうまい具合に買えた——など、ようやく家だけは落ち着いてきているようです。家の補修、建替え問題に加えて、被害は家だけではありません。転職、転学、通勤、失業、給与カット、取引相手の喪失など、いろいろな形で出てきています。今更ながら震災の大きさには呆れています。

### ＜義援金は、21人のオリエンティアに＞

O-JAPANの呼びかけで寄せいただきました、オリエンティアの義援金133万円（つまりまいOLCからの義援金も含む）は、家の被害の状況、事情（持ち家、借家、実家）に応じて、21人のオリエンティアに配分させていただきました。この配分を決めたのは、世話人の尾上・芝（OLP兵庫）の二人で、兵庫県OL委員会所属でないオリエンティアにも配分しようということで、少しでしゃばりました。ここに被害を受けられた方の名前を挙げさせていただきます。と共に、これらの方以外でも関係の方がおられるかも知れませんが、我々の調査能力不足の点、お許しください。

小南美好、檜山直宏、谷垣宣孝、岩倉毅・睦夫妻、佐藤克之、芝聖子、福永一也（以上、OLP）、藤田昭子、定本俊彦、船岡春夫（以上、宝塚OL協）、游賢忠（コンターズ）、四宮一夫・寿美子夫妻（豊中OLC）、松山修（兵庫OLC）、花多山徹、石原純、田中幸司、松浦義明（以上、神戸大OLK）、池上理俊（神戸大OLKOB）、内田仁（大阪市大OLC）、岡西弘行（神戸須磨OLC）、西田伸一・智代美夫妻（レオ・OLP）

（文責）OLP兵庫  
芝 昌宏



義援金を受けられ、みなさまへの  
お礼の手紙を寄せられた中から、い  
くつかをご紹介しますいただきます

前略 全国のO-JAPAN読者の皆さん、そしてオリエンティアの皆さん、オリエンテリングパトロール兵庫（OLP）に在籍させていただいております小南美好（H50A）です。阪神淡路震災より早や140数日が立ちました。この度は皆さんより沢山のお見舞金、暖かいお言葉をいただき有り難うございました。

私事ではございますが、あの時を思い返せば恐ろしいということを通り越していたように思います。私の住んでいる町は、華やかさと田舎との背中合わせの所です。そう言えば聞こえはいいのですが、昔の街道筋で古い建物が多く、私の家もかなり古く、筋沿いはほとんど全滅です。残っている家を数えたほうが早いぐらいです。

17日の a.m.2:00 まで仕事をして、「そろそろ寝るか」と思い、「そうや、全日本参加に行くために会長に頼んどこ」と手紙を書きポストへ、そして風呂へ入って寝たのが2:30頃。グーと寝たかと思ったころ、今までと違うグラグラがくる。反射的に起き、逃げようとして真っ暗な中を立ち上がったが、前へ行こうとすると体が横へ。立て直そうとすると後ろへ、自分の気持ちではどうして立ってられない。家は、その時何とも言えない音で形が変わって行った（それは後から見て）。一掃すりか来て、今のうちに逃げよう、1メートル四方の所に閉じ込められた物を除けようとしたが、引いても押しても動かない。今度は違う所からと動き出した途端、大きな音で天井が落ちてくる。数秒早く動いていたら天井の下敷きになっていたところでした。隣の2階にいた娘とどなり合っていた。「お父さん、助けて」というが、お父さんは閉じ込められている。「次の掃すりかくるまでに出なさい」 始め水道管が破れていると思っていたのが、実はガスだったんです。凄いいいでした。火がついたら

本年1月の阪神大震災の折、本誌を通じての呼びかけに応じて、読者のみなさまから多額の義援金をお寄せいただきました。呼びかけ人の代表として船橋昭一氏のお礼のことは5月号に掲載させていただきましたが、それと前後して、義援金をお受け取りいただいた数々のオリエンティアのみなさまから、みなさまへの感謝のお便りをいただいております。たまたま、本誌6月号は記事が満杯、7月号は編集者の海外遠征のため最少ページ数で発行と続き、やっとこの号で掲載させていただきます。7か月の経過があるとはいえ、まだ避難所暮らしの方もおられる現在、この災害を忘れないため、当時の状況を記憶にとどめておくためにも、ぜひお読みいただければ幸いです。 — 編集部 —

20分もたない。早く脱出せねばと焦るがどうにもならない。そうこうしていると隣の人に助け出され、懐中電灯で照らしてくれ、かすかな透き間があり必死に出た。その時に手足や背中を切っていた。脱出できた時は嬉しかった。狭い所に閉じ込められた時が一番怖かった。その他は、真っ暗だったせいで印象に残っていない。後で見て凄かったんだなと思いました。私の前、近所で5人の方が亡くなりました。もっともっと書くことがあるんですが、お蔭様でいろんな偶然が重なり、元気に脱出できたことを喜んでます。

もっと早くお礼を申し上げなければと、思いつつ遅くなり申し訳ありません。現在では皆様の暖かいご支援で少しずつ自分を取り戻しています。仕事も形は変わりましたが順調にしています。

全国の皆さん有り難うございました。

6月12日 宝塚市 小南 美好

前略 去る5月21日、京大大会会場にて、皆様からの義援金をいただきました。神戸大学OLKOBで監督をしておりました池上と申します。震災直後より、多くのオリエンティアの方々へ助けられ、また励まされたことを厚くお礼申し上げます。今回、このような形で皆様からのご厚情をいただいたことを深く感謝する次第です。

さて、震災前日は本誌表紙上でも既報されたとおり、私は大阪OLC主催のリーグ練習会に参加しておりました。しかし、翌日早朝の、あの大地震によって全てが変わってしまいました。幸い住んでいた所は何とか大丈夫だったものの、最も被害のひどかった神戸市東灘区にいたこともあり、周りの状況は想像を絶するものでありました。崩れ去った木造家屋、傾いたビルディング、幾条も立ち上る煙、血だらけで立ちつくす人々、地割れしガタガタになった道路、そして物言



わぬようになった多くの亡くなられた方々…。仕事とはいえ、これらの出来事に接し、いわば修羅場とも言うべき状況の中で、自らが生き残った不思議さと、人間の気高さと麗さを感じました。

毎日が震災対策に追われ、まさにOLどころではない事態となり、先のインカレも遠く平和な世界での出来事としか受け取れませんでした。幸いなことに、神大OLKのメンバーには命に別状なく（もっともOBの元下宿だった所の中には全壊した所もありました）、インカレへの準備もままならぬ中、良く健闘したと思います。彼らの成績は決して全国レベルの中ではさほど注目に値するものではありませんが、彼らの実力と震災のハンディを考えれば、監督であった私から見ると、十分その健闘ぶりが伝わってくるのを感じました。

しかし、大災害の後は「これから」が大変とも申します。神大OLKもまさに「これから」が大変な時期と言えるでしょう。そういう事情もあり、今度いただいた義援金は、クラブ活動の一助となる形で、基金として利用させていただきたいと存じております。神大OLKもこの震災に負けず、より大きく成長してくれればと願っています。

いつしか春が来ました。二月中旬に電気、二月終わりに水道、四月始めにガスと電車が復旧し、ようやく暮らしも元の姿に戻ってきつてあります。そのような中、インカレでの話を聞いたり、OL界では3年先輩、市役所では同期の前野さん（早大OB、インカレ団体戦金メダリスト）の遠征の話を聞いているうちに、再びOLをしたい、と思うようになりました。そして、ようやく5月4日の公認大会で生きることができましたが、不思議と「生きている自分」を実感してしまいました。

神戸の街も少しずつ復旧していきつつあります。今は、ガレキとホコリにまみれた悲惨な街ですが、いつの日か、以前にも増して美しく麗しき姿に戻ることを信じております。皆様も復興が成った日にはぜひ神戸にお越しくださることを願っています。

最後になりましたが、今回の震災において義援金を全国のOLerに呼びかけてくださった田口さん、船橋さん、村越さん、そして私たちの被害状況を大変な中で調査してくださいましたOLP兵庫の尾上さん、芝さんに厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

5月25日

神戸大学OLK前監督（現コーチ）

池上 理俊

前略 このたびの地震の際は、お見舞いを頂き、誠にありがとうございました。

ニュースなどにてお聞き及びのことと存じますが、地震の発生は未明でした。今、思い返すだけでも身震いするほどの恐ろしさでした。私の住んでいた神戸市灘区は、ガス漏れがあったものの火災もなく地震の被害は幸いにも電化製品、食器、家具程度で済みました（住んでいたアパートが半壊になりましたが…）。何よりも幸いであったのは、神戸大学OLK一同けがもなく無事であったことです。

現在神戸は復興作業の真っ最中です。被害にあった建物は7割方撤去され、街は戦災跡のようですが、一日一日神戸らしさが戻ってきているような気がします。神戸大学OLKも震災に屈することなく、インカレ、全日本大会を目標に努力する所存です。

まずは書中にてお礼申し上げます。

草々

7月7日

神戸大学OLK 石原 純

O-JAPAN読者一同様からの阪神・淡路大震災のお見舞いを、過日芝さんにご足労戴いて受け取りました。誠にありがとうございました。拙寓は全壊の判定を受け、通し柱が歪んでしまっています。長い目で見れば建て替えるのが良いかと思うのですが、今の神戸では解体・建築のサイクルはきわめて不確定なため、添え柱・屋根修理・塀の作り直しをして数年はやり過ごすことにしました。不安はありますが、今までの処で「住むところがあるだけでも大丈夫」と思いながら住んでいます。

4月後半からぼちぼち近辺のOLに参加しています。秋からのシーズンには、また全国の仲間の方にも会うことができると思います。

先ずはお礼までに。

6月4日 コンターズ 游 賢忠

前略 ………

さて、この度は阪神大震災での被災に対し、過日OLP兵庫の芝様よりご連絡をいただき、思いもかけぬ過分の義援金を頂戴いたしました。私ども夫婦はOLを始めてまだ日も浅く、OL関係者の方々には逆に手足を引っ張っている現状で、この度のあたたかいお心遣いに対し誠に恐縮に存じております。心より御礼申し上げます。

私ども、東灘区に在住し、震災時は家族の無事のみが救いで、自分の家屋の被害もさることながら、周辺の破壊状況にただ茫然とするのみで、暫くは手を付けるすべも気力も失っていたように思いま

す。

震災後約5ヶ月を経過しましたが、この間、OLで知り合った方々始め多くの方々の温かい励ましをいただくとともに、3月中旬にはライフラインの最後になっていたガスが通じ、何とか以前の生活リズムを取り戻した今日この頃です。周辺の解体作業も日夜続けられており、更地が多く景観は以前と大きく変化しましたが、着実に復興へ動いているのが実感できます。

私どもの家屋はマンションで、大きな損傷を受けましたが、幸いにも強度的には診断結果は復旧可能とのことで、これから8月末迄は修復工事が続けられる状態です。震災の傷はまだしばらくは残りそうですが、夫婦で元気にOLに参加できることが改めて幸せに感じ、今後ともOLには従来同様参加させていただこうと考えておりますので、宜しく御礼申し上げますと共に、乱文ではございますが御礼まで。

関係者皆様方にくれぐれも宜しくお伝えください。本当に有り難うございました。

6月10日 豊中OLC 四宮 一夫  
寿美子

前略 震災にあった家屋がほとんど取り壊された中で、かすかに建築の槌音が聞こえてきました。元通りの町並みに戻るまでは3年位かかると思われます。

我が家は昨夏に増築したので、幸いにも瓦と壁の補修ですみましたが、隣りの母親の家は、結局取り壊すことになりました。

此の度は過分のお見舞金を頂き、本当に有り難うございました。私共の家が元通りになるのはまだまだ先のことでありますが、元気に頑張っていますことを全国のオリエンティアの皆様によりしくお伝え下さい。

6月5日 OLP兵庫 佐藤 克之

大震災は一瞬にして多くの命と生活を奪いました。幸いにも生き残った私達は誇りを持って立ち上がらなくてはなりません。この度、オリエンティアの方々から、心温まる義援金を頂戴致しまして誠にありがとうございました。何と御礼申し上げてよいやら言葉にもなりません。私の家は全壊し、今は尼崎から会社に通っています。一日も早く神戸へ帰りたいので、家族、力を合わせて頑張っています。この義援金にご協力頂きました皆様方にごうかよろしくとお伝え下さいますようお願い申し上げます。

6月9日 神戸須磨OC 岡西 弘行

## ゴールデータを電波で計算センターへ送る試み

所沢OLC 山西 一徳

ゴールからエントリーNoとゴール時間をアマチュア無線のポケット通信(430 MHz)で計算センターまで送る試みを第7回所沢OLC大会(ゴール〜計セン間は直線距離で2km)、第10回埼玉県OLC協会大会(同300m)に続き、今年の第21回全日本大会(同500m)でも行なってみました。アマチュア無線をやっている人が何人かいるクラブにはお勧めできます。ゴールタイマーとしてパソコンを使い、このパソコンにコントロールカードに印刷されたバーコードでエントリーNoを読み込みます。現在は6人読み込むと自動的に送信するようにしています。電波の状況にもよりますが6人分が10秒以内で計センに届いており、全日本大会では

ゴール者のピーク時でもゴール後5分以内で速報印刷ができていました。一番心配なバックアップ対策ですが、今回は全日本大会でもあったので、安全を期しているいろいろと対策を講じました。タイマー関係ではグリップスイッチを押すことにより、メインタイマーとしてのパソコン、サブタイマーとしてのパソコン、従来型のゴールプリンターを連動させ、

- ① メインタイマーでポケット通信が不通になったときは、データをディスクに記録して計センに運ぶ。(東大OLC方式)
- ② メインタイマーがダウンしたときは、サブタイマーに移行すると同時にダウンしたメインタイマーを再立

上げてサブのサブとして備えることとする。

- ③ ②で2台ともパソコンが動かなくなったときは、ゴールプリンターの記録紙で従来型の方式とする。

以上のようなものでしたが、使わずに済みました。

従来型に対して、アマチュア無線局が2局(将来は電話でできるようにしたい)、無線機の他にTNC(私が持っているものは定価 ¥29,800)、ゴールタイマーとしてパソコン(+電源)それにバーコードリーダが必要です。

詳細については、TEL.0429-39-5465(19:00~21:00) 山西 まで問い合わせてください。

この度は全国のオリエンティアの皆様から義援金を頂き本当にありがとうございました。

あの1月17日、私(西田智代美)は主人の母の介護のため、下の娘だけを連れて名古屋へ行っており難を逃れました。主人は神戸の自宅、息子は私の実家(西宮)にいましたが、それぞれ怪我もありませんでした。名古屋にいたおかげで、地震の恐怖や神戸脱出の苦勞(同じマンションの住人は、次の日幼な子の手をひき荷物を背負って甲子園駅まで3時間以上かけて歩いたそうです)も知りません。避難所にもいかにすみしました。西宮で震度7を体験した息子にも心の傷はないようです。

ライフラインの復旧が遅かったの(何といても一番被害甚大な東灘区です)から、約2か月自宅で生活できなかったことが唯一の不便でした。そして、築5年のマンションがかなりの修繕費を要するほど(私の年収を上回るぐらい)破壊されてしまったことが最大の被害です。つまり、地震が我が家にもたらした損害はお金で解決できることなので、皆様からの義援金は本当にありがたいことです。また、心配して電話や手紙を下された皆さん、本当にありがとうございました。

今回の震災で得たものがあるとするならば、それは無形のもの価値を身にしてみても感じたことです。形あるものはいつかは崩壊します。食器や家具のみならず、鉄筋コンクリートの建物や高速道路

や橋までも例外ではないことを目のあたりにしながら、命さえあれば、経験や記憶や感情は天災によっても奪われないのだと思ひ知らされました。だから、OLはこれからも続けていきたいと思ひます。やっぱりOLを軸とした生活、嗜好、人間関係が私達の一番の財産だからです。

皆様、本当にありがとうございました。私達は頑張ります。

6月6日 OLP兵庫 西田智代美

義援金をありがとうございました。

あれからもう4か月になりますが、その間、全日本リレーを始めとして、OLも5回ほど参加しています。しかし、日常のランニングはずいぶん減りました。西宮に避難していた2か月は、避難所や倒壊家屋の横を走る気にはどうしてもなれませんでした。ごく稀に走る時も、被害の少なかった甲山の方を走っていました。神戸に戻り、4月にはいつてからは週末にとときどき走っています。しかし、街中は解体のほこりが舞い、住吉川は堤防が崩れています。好きだった海沿いのコースも、堤防道路は波打ち亀裂がはいり、橋は通行止め、埋立地にはガレキの山とガレキを運ぶ車の列が続きます。

子供が遊び、お年寄りが談笑し、ランナーが走る。そうした元の日常が一日も早く戻ってくることを、住民の一人として願わずにいられません。

経済大国日本の内実が、実はこの程度のものだったことを、阪神大震災は改め

て白日のもとにさらしました。我々の払った税金はどこへ行ってしまったのか。オリエンティアの皆様からのみならず、全国の方々から集まった義援金は、それはそれで大変ありがたいことですが、私たち一家よりもっとも苦境に立たされている被災者の方々を見るにつけ、国家・自治体は何の為にあるのか怒りを禁じ得ません。

いずれにせよ、再度申し上げますが、皆様の暖かい心遣いに深く感謝いたします。ありがとうございました。

6月6日 OLCレオ 西田 伸一



# パ=マネットコース

りぼ〜と



□1994年11月23日(祝)  
茨城県 〓大高 94-35〜  
「青争山脊」

[距離] 7 km  
[ポスト数] 10本 PC-0-MAP

水郡線「静」駅下車。関東地方のコースは行き尽くしてしまったので、かつて木佐木さんより頂いた廃止コースのマップの中にあつた当コースを駄目は承知で調査がてら歩いてみることにした。既に廃止されて4年が経つが、駅前の案内板は健在。マップとマスターマップも「小林商店」に残っていた。ポストも残っていればラッキーと思ひながら①へ行く。金網に寄り掛かっていたものも健在であった。②〜⑤はそれほど傷みもせずしっかりと存在している。⑥は分かり易い分岐にある筈なのだが不明。廃止の原因となったのは⑥〜⑦の間にできてしまったゴルフ場。迂回をせず従来どおりのルートを歩いていくと、木佐木さんのレポートにあるとおり、高いネットが見えてくる。このネットに出るまでは荒れていて一苦勞。辿り着き、ネット沿いに歩くと左手に道の入口があり、入っていくと⑦のある鉄塔下に通じる。結局ゴルフ場の影響を受けているのはほんの僅かな区間で、しかも全く通行不能というわけではない。この辺りには地図にない新しい小道もあり、しっかり調査すればゴルフ場を回避することもできそう。たったこれだけで廃止するのは正直もったいない気がする。⑧の南側は公園が造成されて地図と異なっており、ポストは土台から引き抜かれて丸太に括り付けてあった。⑨は草に隠れ気味だが真直ぐ立っている。⑩も健在。とても廃止コースとは思えぬほどコースがしっかり残っており、未踏破の方にはまだ十分お薦めできる。⑥を再設置して⑥〜⑦の迂回ルートをしっかり整備すれば立派に生き返ることのできるコースである。

(瓜連町教育委員会体育係

〓0292-96-1111)



□1994年12月9日(金)  
兵庫県 No. 2 〓大高 94-36〜  
「仁川・甲山」

[距離] 10 km  
[ポスト数] 9本 PC-0-MAP

平成7年1月17日の阪神大震災にて土砂崩れにより大きな被害を受けた西宮市仁川にある「仁川・甲山」コース。以下のレポートは震災の1ヶ月余りに回つた際のものである。阪急今津線「仁川」駅下車。駅西口「かわせ書店」(10時開店)にマップとマスターがある。駅前がスタート地点だが案内板はない。マップは駅から仁川沿いへ進んで、①へ行く途中にある水道送水管から使用するようにならされている。甲山を中心とした起伏の多いコース。①は住宅地の合間を抜けていく急勾配の舗装道路を歩く。ポストは古く、首を傾げていた。②は「五ヶ池」の畔を歩くが枝分かれする道が多く難しい。②への登り口もこの日は雨のために沢のようであった。③は山火事のために存在しないという情報を得ていたが、直前に県O.L委員会に問い合わせた際に、しっかり立ててあるとのことであったので行ってみた。しかし山火事の跡地とあって余り整備状況は思わしくなく、最短ルートは不明。そのため西へ暫く廃道を進み、見当を付けて南へ入った。ここで山のピークを目指して進んでいたため、一つ西の山を登っていることに気付かず30分ほど無駄な時間を使った。気付いたのは山を下り、フィールドアスレチックまで戻ってきてからで、そこから再度アタック直した。何しろ大変道の入り組んだところであるのでしっかりした地図読みをしないと到達は難しい。山火事の跡が痛々しく残る山道を行くとピークをやや下ったところに③はある。立て直したという話であったが非常に古いポストであった。④が甲山山頂。⑤は一気に下るが最短ルートは荒れていたため西に遠回りした。⑥は浄水場沿いの道の曲がりがあるが見過ごしに注意。中級向けのコース。

(兵庫県O.L委員会 〓078-361-8086)

□1994年12月10日(土)  
兵庫県 No. 12 〓大高 94-37〜  
「佐用大撫山」

[距離] 12 km  
[ポスト数] 8本 PC-0-MAP

姫新線または開通したばかりの智頭急行「佐用」駅下車。駅降りて左手すぐのところにある「佐用町役場」がスタート地点でマップとマスターがある。この日は休みであったので宿直に預けておいてもらった。外の案内板にはマスターの掲示はされていない。ごく最近ポストを埋め直したらしく、ポストの足元の土だけがまだ新しい。その際⑦の位置が南寄りに移動された。マップも1:25,000のままではあるが新しくなっている。大撫山山頂にある「西はりま天文台公園」もスタート地点になっている。大撫山を中心とした健脚コース。①は病院の北側の小高いところにある。②から③へは道の間違え北の主要道路に出てしまった。④はテレビの中継所への往復。因にこの④の近くにはかつてのポストも撤去されずに残っている。⑤が大撫山山頂に最も近い。⑥に直接向かう道の入口は全く分からないので、川まで一気に下ってしまい、橋を渡る直前で地図に載っていない道を南に入るとよい。⑧は「佐用都比売(ひめ)神社」。全てが新しく、新設コースを歩いているような気分が回れた。

(兵庫県O.L委員会 〓078-361-8086)

□1994年12月10日(土)  
岡山県 No. 22 〓大高 94-38〜  
「美作勝央」

[距離] 8 km  
[ポスト数] 10本 PC-0-MAP

姫新線「勝間田」駅下車。北に徒歩10分の「勝央(しょうおう)町公民館」がスタート地点でマップがある。こもこの日は休みであったが、やはり宿直に預けておいてもらった。外のマスターは明瞭。事前に問い合わせた際に、整備されていない上に造成で地形も変わってしまったので今は勧められないとの返答を頂いたが、承知で回ってみた。東京オリンピック記念樹園を中心として、周辺の丘陵地帯を巡る素朴なコース。①は鞍部。①〜②にかけて造成が行なわれており、道も変わっているが、目指す方向が見渡せるので、それほど不安は感じなくて済む。②はマスターだと土壇にあるようだが、それよりはやや南。③へ向かう途中、尾



根筋に出る直前は荒れている。特にヘアピンカーブには草に隠れた小さな橋があるのだが、見えずに踏み外し転倒してしまった。③は倒れていた。⑤は展望台の下にあるが、頭が落ちていたので取り敢えず元に戻しておいた。⑤～⑦が記念樹木園。⑧～⑨は地図上の石仏の道は、舗装道路となつてがっかり。⑨周辺は中学校建設のために大造りが行なわれたが、ポストは無事残されている。聞いていたとおり、ポストは全て老朽化して、記号の判読も怪しくなってきたものもあるが、今のところ全て健在。しかし早いうちに整備しなければ使用不能となるのも時間の問題といったところ。午後2時半過ぎのスタートで、冬至に近いこの時期、日暮れとの戦いであったが、明るいうちに何とかゴールできた。

(勝安町公民館 ☎0868-38-2580)

□1995年2月25日(土)  
三重県 No.12 ~大高 95-1~  
「四日市」

[距離] 10 km  
[ポスト数] 6本 PC・O-MAP

近鉄湯の山線「高角」駅下車。駅前がスタート地点でマップとマスターは「内田自転車預り所」にある。案内板は線路沿いの建物の裏に放置されていた。マップは昭和62年調査の通行可能度入りのO-MAPだが、開発が進み後半は新道や大造成現場にぶつかる。コースにも大幅に影響が出ており、かつての⑧⑨は使用不能となってカットされた。そういったこともあり、昨年10月からは僅か6ポストの短縮コースが組まれている。その際、かつての⑩も省略されてしまっているが、確認のために立ち寄ってみると「川島幼稚園」の正門前に健在であった。マスター位置にポストはない。主要道路が拡張されているのでその時に撤去されたのかとも思ったが、富田さんより頂いた旧マップのコピーを見ると300m程西にかつての⑤があることになっている。行ってみると案の定ここにポストはあった。FRP製のポストであったので、かつての⑤の残骸ではない。現在の最終ポストはかつての⑦であり、ここからゴールの「伊勢川島」駅まで舗装道路をだらだら歩くのは退屈する。⑩はその途中にあるので敢えてカットした理由は不明。何とか存続しているといったコースであり、県協会の話ではそろそろ廃止しなければならないだろうとのことであった。

(三重県O.L協会 ☎0592-24-2404)

□1995年2月25日(土)  
三重県 No.4 ~大高 95-2~  
「湯の山」

[距離] km  
[ポスト数] 7本 PC・O-MAP

近鉄湯の山線「湯の山温泉」駅下車。駅窓口でマップ、近くにマスターがある。コース内にはゴルフ場とダムが造成され、使用不能の状態に近い。案内板にも⑤⑦⑧が使えなくなり、当分の間使用を禁止すると記されている。それでもマスターはしっかり掲示されており、⑦～⑨をカットしたコースが組まれている。⑤と⑨が食い違うように思えるが、⑦⑧を含めて全て回ってみるつもりでスタートした。④までのルートは全く問題ない。但し、②は赤錆がひどく、頭と棒がバラバラになって転がっていた。問題は⑤以降。④から地図通りに行くと⑤へ通じる小径との分岐はゴルフ場となり、立ち入ることができない。仕方なく④まで戻り、瀬戸川沿いの道から出戻りでアタックすることにした。本来なら出口となる小径の入口は非常に分かり辛く、何とか探し出して入って行っても荒れ果てて難渋する。強引に進んでいくと、ゴルフ場に突き当たるや手前で⑤を発見した。⑥もなかなか見つからない。マスターは池の畔となっているが、実際には手前の分岐を右に入っていかないとまず分からないだろう。さてひと山越えて⑦へ向かうと木立の間から水面が見えてくる。地図上では田圃の西端に⑦はあることになっているが、見渡す限りのダムとあっては、探す余地は全くない。⑧も同様。ダム沿いを歩き、⑨へ行くところは無事存在していた。しかし、⑦⑧が使用不能とあっては一つだけ離れた⑨を組み入れるのはやや無理があるので、マスターの短縮コースは納得できる。⑩は倒れて埋もれているため探し出すのに時間がかかった。現状では閉鎖する他はない。

(三重県O.L協会 ☎0592-24-2404)



□1995年2月26日(日)  
三重県 No.5 ~大高 95-3~  
「久居」

[距離] 10 km  
[ポスト数] 11本 PC・O-MAP

近鉄名古屋線「久居」駅より三交バス榑原線(1時間に2本程度)に乗り約10分、「戸木(※)神社前」下車。バス停近くの「戸木神社」の鳥居の前に案内板があるが、マスターの掲示はない。マップとマスターは参道途中、左手の社務所「大島」宅に置いてある。朝8時半に訪れたが、快く応対してくれた。このコース内もかなり開発が進み、②～④の途中までは大規模な工業団地を右手に見下ろしながら歩く。コースの小道は辛うじて残されているといった感じ。大問題は⑧。コース前半は何か開発から逃れていたものの、ここは完全に被ってしまい、様相一変。⑦を離れてすぐに造成現場に出る。日曜日で休みだったため、勝手に中を通らせてもらい、先に進むと工業団地が出現する。マップ上の道など全くなくなっていったが、念のために周囲を探し回ってみたものの、骨折り損だった。⑧はない。⑦から⑨はそれほど離れてなく、⑧を廃止してもコースの流れはスムーズである。⑨は老朽化が激しく白骨化している。⑩の近くには同じ記号の更に古いポストが放置されていた。マスターでは⑩でゴールとなっているが、私はスタート地点まで戻った。これ以上開発が進むとコースの存否に関わる。何とか現状を維持して行って欲しいもの。

(三重県O.L協会 ☎0592-24-2404)

□1995年2月26日(日)  
三重県 No.1 ~大高 95-4~  
「伊賀上里予」

[距離] 10 km  
[ポスト数] 10本 PC・O-MAP

近鉄大阪線「伊賀上野」駅下車。駅前がスタート地点で、マップは「大石駐車場」にあると聞いていたが不在で入手できず。案内板も狩猟期間が終了しているにもかかわらず、いまだに使用禁止の掲示がされていた。マップ、マスターとも確認できなかったが、今回は富田さんより頂いたコピーを使用して踏破した。ポストが奥に入っているので探すのに時間がかかるということであったが、季節柄草もなく、いずれもあっさり見つかった。①は沢を若干上ったところ。②は小径を北に入ったところに鉄製の古いポスト

トがあり、元の道をそのまま進んだところにFRPの新しいポストがある。同じ記号なので問題ないが、紛らわしい。⑤の手前は新道の建設中で本来の小道が分りにくい。⑨は「常福寺」の裏。⑨から⑩にかけてはこの日、小雨の降るなか草焼きが行なわれていた。私が行く直前に火を点けたようで、濠々たる炎と煙のなかを歩く羽目になった。⑩へは頼りない橋を渡らなくてはいけない。ここも新ポストの近くに同じ記号のかつての鉄製のポストが残っていた。今回の三重県下のPC巡りでは唯一完全なコースであった。マップは後日上野市教育委員会体育課から郵送してもらったが、在庫僅少ということで1部のみであった。

(三重県OL協会 ☎0592-24-2404)

□1995年3月25日(土)  
大阪府 No.11 ~大高 95-5~  
「室也飯反盛山」

[距離] 10km  
[ポスト数] 10本 PC・0-MAP

片町線「四条畷」駅東口下車。線路沿いを北に向かい、突き当たりを右折して800m程東に行くと、「四条畷神社」に着く。神社入口の旅館「伊勢屋」にマップとマスターがある。近くにある案内板の中のマスターは判読困難。①の「御机神社」へはルート選択の楽しみがある。②から山に入り、③がコース名にもなっている「飯盛山」山頂。眼下に街の景色が見渡せる気持ちのよいところ。雨天にもかかわらず、ハイカーの団で賑わっていた。また、ポストの目の前には「楠木正行」の大きな銅像がある。④⑤は広大な台地の上を歩き、送電線の鉄塔を縫っていくと池の畔に⑥がある。池は造成中でポストに辿り着くのに苦労した。⑦への山道も良好。真夏でも問題ないだろう。⑧「野崎観音」。山の上から見晴らしもよく、整備状況も完全で、推薦ベストコースである。

(大阪府OL委員会 ☎06-942-5146)

□1995年3月25日(土)  
大阪府 No.20 ~大高 95-6~  
「雀鳥見糸録土也」

[距離] 4.5km  
[ポスト数] 20本 PC・0-MAP

大阪環状線「京橋」駅下車。地下鉄鶴見線緑地に乗り換え、終点の「鶴見緑地」下車。公園内の「レストハウスつる

み」にマップ、近くに立派な案内板がある。このコースのメインとなる庭園は無料開放されているが、門が9時からでないと開かないので、早朝のちょっとした時間に回ってしまおうと思って訪れるのがかりする。閉門も16時半と早いので要注意。4.5kmで20のポストがあり、ポスト間の所要時間も平均して3分程。因にスタート地点から①までは歩いても僅か24秒で着く。⑥は工事中で立入禁止であったが、こっそり入らせてもらい、確認しにいったが撤去されていた。⑨からが見どころの「世界庭園」。再現された世界各国の庭園のなかを巡る楽しい区間。普段のPCでは味わえない風景が展開する。この日は「大阪国際博覧会」の開催中ということもあって、イベント会場は雨天にもかかわらず大変な賑わいがあったが、庭園内は打って変わって静かなものであった。変化に富んだ楽しいコース。

(大阪府OL委員会 ☎06-942-5146)

□1995年4月2日(日)  
東京都 ~大高 95-7~  
「三宅島」

[距離] 11.5km  
[ポスト数] 11本 PC・0-MAP

羽田空港よりエアーニッポン(8:40発YS機)に乗り、40分で「三宅島空港」に着く。スタート地点の「錆ヶ浜港」へは村営バスもあるが、この時間接続が悪く、タクシー(3,000円程度)を使った。設置されてから3年しか経過していないが、早くも新道の建設等で現地とマップの違いが生じ、現在コースは閉鎖されている。そのせいもあってか、案内板は淋しく放置されており、中のマスターは判読不能。マップの取扱所になっている港前の観光協会は営業しておらず、マップとマスターは事前に三宅村役場観光工商課から郵送して頂いた。その際、注意事項として、ポスト記号が潮の影響で色落ちしてしまい、判読できないものがあること、途中に新しい道ができていくこと、山のなかの道が倒木で通行困難なことを告げられた。島の西側の阿古地区に設置されたコースであるが、当地区は昭和58年10月3日の噴火で大きな被害を受け、集落の大半が溶岩の下に埋もれてしまった。④へ向かう際の道端に「阿古の温泉街」と題して、当時の町並みの写真が表示されている。現在の風景と比べるとその変わりようには驚くばかりである。さて、コースだが、①~③が海岸に設置されている。溶岩の真っ黒な海辺を

見ながら歩く。「めがね岩」前の①は、指摘のとおり完全に記号が色落ちしてしまい、判読不能。うすうす見えなくもないが、相当目を凝らしても確実には分からない。②は旧「阿古小・中学校」前にあるが、建物のなかにまで溶岩が押し寄せしているのが生々しく見える。②③共、辛うじて記号判読可能。③近くより左手上方を見上げると、まるで人間の顔のような「人形岩」がある。④の手前少しの間溶岩の上をザクザク歩く。林の入口に④はある。④を出てすぐに激しい倒木で行く手を阻まれる。乗り越えたり横をすり抜けたりして悪戦苦闘しながら登っていった。途中、地図にない道を横切るが、始めから頭に入れてあったので問題なし。しかし、そのすぐ先で伐採のためまた難渋した。何とか脱出すると⑤に着く。⑥も苦労する。尾根に続く小径は所々不明瞭になり、しっかりした地図読みをしないとすぐに見失う。地図上の分岐付近は特に分かり辛いので慎重に進む。牧場に辿り着いたのも束の間、それに沿った道がこれまた不明瞭。道らしい道がなくなってしまふところもある。ポストは「笠地観音」にある。⑦~⑨の途中までは溶岩真っ只中を進む。但し、踏み固めて作られた道には低木が生い茂り、歩行困難な箇所が続く。⑧は溶岩のなかに設置されている。舗装道路に出る直前は道がなくなり、ガラガラ崩れる溶岩の上を歩かなくてはならない。非常に危険で、私も一度足を取られて転倒してしまった。⑨は記号の色落ちがかなり激しい。⑩からの小径は余りにも急坂過ぎてとても下れる代物ではない。ここは相当遠回りになるが、道路を迂回したほうが安全。所要3時間13分。帰りは「錆ヶ浜港入口」停留所より村営バス(13:59発)に乗った。16:25の便で三宅島をあとにした。以上のようにポストは全て存在し、立入禁止箇所もないのでどうしても回ってみたいという方にはよいが、コースを楽しもうというのであれば今後の整備を待つしかない。しかし、ポストの更新、倒木の撤去、溶岩道の整備、そしてマップの刷新と大掛かりな整備が必要であり、担当の方の話ではまだ3年位かかってしまうかもしれないとのことであった。完全な形で再開を願ってやまない。

(三宅村役場観光工商課  
☎04994-6-1111)

レポート：  
〒344 埼玉県春日部市武里団地5-23-503  
大高 竜亮

□1995年1月29日(日)

群馬県 ～木佐木 95-1～  
「赤高」(A)

[距離] 12km  
[ポスト数] 10本 PC・O-MAP

JR上越線「渋川」駅、またはJR両毛線「前橋」駅(北口)から東武バス「前橋」～「渋川」線に乗り、「木曾神社入り口」下車、徒歩20分で老人休養センター「城山荘」に着く。マップは「城山荘」(休日は毎月第1日火曜日と年末年始)にある。マスターは50mほど下の掲示板にあり鮮明。マップの縮尺は1:15,000で調査は1988年。信頼度は5段階法で4。例えば、②の所に小さな池が2つ書いてあるが、西の池は埋め立てられて広場になっていたり、マップには無い舗装道路が突然現れたりする。コースは田園80%、岡の麓10%、舗装道路10%で、高低差は30m。整備状態は優。特に難解ポストはない。⑦はマスターによると果樹園(梅園)の南端のように見えるが、実は池の南堤の桜並木にある。⑦の土台のコンクリートは地上に露出して、桜の幹に立てかけてある。梅園の南端付近は造成工事の跡があることから、⑦はもともと梅園の南にあったものが、桜並木に移されて放置されたものであろう。このコースとの最初の出会いは昭和55年8月。当時のマップは1:25,000で黒色のコピーであった。桑畑が多かったことを記憶しているが、その桑畑が現在は3分の1位に減少していた。昭和55年のコースと比較すると、南東部がカットされて北東部へ拡大されている。マスター掲示板付近からは榛名山の全容が一望できる。春、ハイキングを兼ねて歩くには最適であろう。

(城山荘 ☎0279-52-2405)

□1995年2月27日(月)

岐阜県 No.11 ～木佐木 95-2～  
「瑞浪良七石」(B)

[距離] 5km  
[ポスト数] 4本 PC・O-MAP

JR中央西線「瑞浪」駅下車。駅より西北西の「瑞浪市民体育館」=休館日は火曜日=まで歩いて40分。タクシーは930円。マップは体育館の受付にあり、無料。マスターは駐車場入口にあり鮮明。コースは10km・5km・3kmの3コースが記入してあるが、No.はつけていない。ポストは3コースで10本。マップは1:15,000で、調査は平成6年のため精度は

100%に近い。昨年11月に10kmコースを歩いたので、今日は5kmコースに挑戦した。マスターにNo.がつけていないが、時計の針と反対の回り方が良いと思う。コースは、山70%、沢沿いの道30%で高低差は80m。よく整備されていてポストも新鮮で標準の大きさ。②と③はマスターが2mmほどずれているが、現地は見通しの良い場所なので別に支障はない。②から沢へ下りて、沢から上の道へ上がる所がマップ上では空白になっているが、実は急登の小径があり6mほどのロープが下げてあるので大助かり。この崖は雨の直後は危険であろう。体育館の近くには「化石博物館」などの見るべき施設が数か所ある。3月号に私のレポートがあるので参照されたい。総合点は91点。

(瑞浪市民体育館 ☎0572-68-0747)

□1995年2月28日(火)

岐阜県 No.4 ～木佐木 95-3～  
「日本ライン」

[距離] 10km  
[ポスト数] 10本(9本現存)

JR高山本線「美濃太田」駅下車。駅から南進3分で十六銀行のある交差点、そこで右折(西進)して7分で「中濃体育館」=休館日は月曜と第3日曜=。マップとマスターは体育館の事務所。マスター掲示板は入口の横にあるが、中のマスターはカビが生えて読めず。マップは1:25,000の古典マップ。マップ上の道の50%は信頼不能。コースは、岡30%、田園地帯40%、舗装道路30%で高低差は30mぐらい。事前に体育館に電話をしたところ「コースは荒れていて保証できません。マップはあります」という返事であった。ポストは標準の大きさで鮮明。マップとは裏腹で奇妙な感じがした。①→②は舗装道路が縦横にあるので、北方の低い岡とマップ上の地形とを見比べながら進む。②の付近はバイパス工事中。②があった加茂神社は100m北に移転工事中であった。マップでは鳥居の記号の所に②があるが、今後、②は100m分離れることになる。問題は③→④である。窪田氏・富田氏・大高氏のレポートを読んでいたので、覚悟はしていたがひど過ぎる。③の所でコンパスを④に合わせおくのが最善策であろう。④→⑤は道なりに問題なし。⑤は見当たらず。大高氏のレポートでは、「⑤は高架橋の下に立てかけてあった」とあったので、小さな遊園地とその前後の高架橋下をくまなく探したが無し。隣の八坂神社境内と周辺も入念に探索したが見当たらず。後

日、体育館に電話したところ、「⑤はありません」という返事。マスターを写す時に言ってほしかった。そこで私の提案。

- (1) 早急にPC用O-MAPにする。資金は他コースのように「年賀葉書寄付金」を活用できないか。
  - (2) 現在の⑤は廃止する。
  - (3) ③と④の間に誘導ポストを1本入れる。
  - (4) ③と④の間に高圧線があるがマップは修正されていない。マスターマップにでも記入してあると、現在のマップのままで大いに助かる。
- 以上のうち、(2)(3)(4)はマスターに赤色で追記すれば、現在のマップのままでも当然使用可能である。  
(中濃体育館 ☎0574-26-3241)

□1995年4月17日(月)

栃木県 ～木佐木 95-4～  
「今市青少年  
スポーツセンター」

[距離] 9km  
[ポスト数] 8本

JR日光線「今市」駅または東武「下今市」駅下車。日光街道へ出て、関東バス「宇都宮」行きに乗り「スポーツセンター入口」で下車。少し引き返して信号のある丁字路で頭上の案内板に従って徒歩約30分で「スポーツセンター」に着く。マップとマスターはセンターの受付にある。センターの休館日は年末年始と9月の第4日・火曜日。マスター掲示板は建物の入口にあるが、なぜか①印のみが消えている。マップは1:25,000の古典のもの。調査日は不明だが、おそらく開設当時のままではあるまいか?しかし、古いわりには歩くための支障はあまり感じない。高圧送電線が全く記入されていないのが気になる。コースは、岡10%、田園地帯60%、山の麓10%、舗装道路20%で標高差は30m。整備は優良。ポストは標準の大きさで鮮明。最近取り替えたと思われる。⑥と⑦はマスターが2mmほどずれているようだ。特に⑥は後を振り向くような位置にあるので通り過ぎないこと。平凡なコースだが、④以外のポストは全て道からずらしてあるので、どこかのコースのように遠くから見えて興奮させることはない。このコースは8年前にも歩いたが、その当時と比較すると、旧⑦⑧が撤去されて①⑧が新設されている。しかし、最大の変貌はセンターと⑧の間に出現した広大なゴルフ場である。旧⑥からゴールまでの約2kmは、雑木林の中の



細い土の道で趣があったが、現在は4m幅の舗装道路と化して、味もそっけも無くなった。四季を通じて、ハイキングを兼ねての散策に適している。

(青少年スポーツセンター

☎0288-26-1155)

□1995年4月29日(祝)

埼玉県 ~木佐木 95-5~

「埼玉県民の森」(B)

[距離] 6 km

[ポスト数] 10本 PC-0-MAP

西武秩父線「芦ヶ久保」駅下車。徒歩約90分で「埼玉県民の森」に着く。マップとマスターは「県民の森管理事務所」にある。マスター掲示板は事務所の近くで読み取り可能。A・Bの2コースがあるが、今回はBコースについて書く。Aは9km。マップは1:20,000で、昭和60年の調査だが、それ以後の造成・開発がほとんど無いので、Bコースのマップの精度は100%に近い。ポストは標準だが、⑦は錆びが始まり、⑩は土台丸出しで木に縛りつけてある。コースは森林公園の中の遊歩道で、山100%。舗装道路は全く無くて快適そのものだが、高低差が200m以上あり、2回半上下する。②がある丸山展望台は標高960m。③と④の間には至る所に「かたくり」の群生があり、薄紫の幻想的な花がまるで天女の羽衣を広げたように咲き乱れていた。「山桜」も残り花が多く、「やまつじ」も満開の木が多く見られた。推薦コースに入りたいが、アクセスが問題である。駅と△の標高差は約500mで、健脚かマイカーに頼るしかない。駅から△までの登山道は2本あるが、北の道は広大な伐採地帯にぶつかり、道が消えているので、往復とも南の道を利用した方がよい。5年前にA・B両コースを歩いたが、コース・記号その他に全く変更なし。「県民の森」には売店・食堂などは一切無いので、あらかじめ用意して登ること。

●「県民の森」は12・1・2月は閉鎖されている。その他の期間は無休であるが、念の為に電話してから行く方がよい。

(埼玉県民の森管理事務所

☎0494-23-8340)



□1995年5月10日(水)

静岡県 No.6 ~木佐木 95-6~

「富士丸火」

[距離] 6 km

[ポスト数] 8本 PC-0-MAP

マップとマスターは「富士市立少年自然の家」にある。休館日は月曜日・祝日と日曜日の午後。JR東海道本線「富士」駅からバスで「吉原中央」駅へ行き、「吉原中央」駅から「十里木」「日本ランド」行きのバスに乗り、「丸火公園入口」で下車して徒歩約40分。「少年自然の家」は「丸火自然公園」の南端にある。本数は極めて少ないが、数方向からバスがあるらしいので、「少年自然の家」に電話して聞いてみるとよい。マスター掲示板は庭の隅にあり鮮明。マップは、縮尺1:15,000、調査は平成4年で精度は良好。ポストは標準の大きさで全員健在。コースは、山80%、舗装道路20%で、標高差は60mぐらい。このコースから富士山の麗姿に接することは不可能。①の近くでは中学生の団体がキャンプの準備をしていた。③の手前は杉林の伐採直後で小径は不明となるが、コンパスワークで簡単に解決できる。④の手前も小径が不明瞭だが、植生界に沿って進めばよい。④の近くに「富士愛鷹」コースの⑦が立つ穂見神社があるので、道中の無事を祈るため立ち寄った。山の中では珍しく立派で大きな神社である。⑦の周囲には溶岩洞穴が多数ある。⑤のあたりは小径が迷路のようにあるので細心の注意を要する。大抵の人が④→⑦→⑤→⑥→⑧と回ると思うが、No.どおりに回る方が回りやすいのであろうか?このコースは、昭和52年7月に歩いたが、当時は1:25,000の古典マップで雑草や低木をかき分けて進む所が多かったと記憶している。推薦できるコースだがアクセスに難点がある。

(富士市立少年自然の家

☎0545-35-1697)

□1995年5月19日(金)

埼玉県 No.11 ~木佐木 95-7~

「ネ申川」

[距離] 8 km

[ポスト数] 10本 PC-0-MAP

JR高崎線「本庄」駅、または八高線「丹荘」駅下車。「鬼石」行きバスに乗り「池田」下車。徒歩15分。マップとマスターは「埼玉県立神川青年の家」にある。休館日は月曜日と祝日。マスター掲

示板は20m下の広場の隅にあるが、No.が不明瞭。マップは、縮尺1:15,000、調査は平成4年。調査員の筆頭に、O-JAPANのPCリポーター大高さんの名前がある。ポストは標準の大きさで、新品に近く10本とも元気印。コースは、山10%、田園70%、舗装道路20%で、高低差は30m足らず。難解ポストは無く、平易なコースである。このコースはマップが更新される度に歩いたので今回が3回目である。昭和51年、雨の中を歩いた時は1:25,000の古典マップで、⑧→⑨では小径が消えて竹藪の中を右往左往した。昭和59年に歩いた時はPC用O-MAPとなり、(A)(B)に分かれていたが、5本のポストが共通だったので同時に歩いた。そのマップからは、前記の⑧→⑨の周辺は消去されていた。3代目の今回のマップからも削除されている。共通ポストは2本のみ。

(神川青年の家 ☎0495-77-3442)

□1995年5月31日(水)

山梨県 ~木佐木 95-8~

「清里」

[距離] 10 km

[ポスト数] 10本 PC-0-MAP

JR小海線「清里」駅下車。マップとマスターは清里駅前宿泊案内所(☎0551-48-2200)と町営高根荘(☎0551-48-2311)にある。ホテル・カームの売店では売り切れて、現在のところ無い。甲斐駒0Lクラブに電話をしたところ、「マップを更新するので増刷の予定はありません。新マップは平成8年秋頃できる予定です」と、教頭先生(甲斐高校)が親切に説明された。マスター掲示板はホテル・カームの前方にあり実に明瞭。「宿泊案内所」駅直前にあり、午前10時に開店する。「高根荘」は⑦から徒歩3分の所。したがって、コピーマップなどを用意して⑦まで歩き、そこで立ち寄り買うしかない。宿泊案内所も高根荘も休日は不定期。マップは1:10,000で、昭和60年の調査。1:15,000に馴れた感覚で歩いていると行き過ぎてしまう。コースは、山70%、舗装道路30%で高低差は300m。しかし、上下は1回しかなく徐々に登るので、さほど苦しくはない。観光地のため良く整備されている。ポストの大きさは標準に近く、記号は鮮明だが、支柱が底面の片隅についているのが印象的。②は20m手前に移動されて、旧①と並んでいた。⑤と旧④が仲良く「大山つじ」の横に並列。残念ながら「大山つじ」はまだ蓄であった。⑥の付近は小

□1994年11月12日(土)  
群馬県 ~富田 94-15~  
「金山」

[距離] 9 km  
[ポスト数] 10本 PC・0-MAP

東武鉄道伊勢崎線「太田」駅下車。案内図に従って「大光院」(呑龍様)まで徒歩20分。タクシーもある。門前の「山口屋食堂」(☎0276-22-2647水曜休業)にマップとマスターがある。外にあるマスターは不鮮明。ポストの頭は標準より小さいがすべてきれいだ。①は「金龍寺」、③は「高山神社」だが、ここは帰りに寄る方がよい。⑤は峠の右上やや遠い所にある。⑥から⑦へ急登すると「新田神社」へ出る。その南のトイレと茶屋の間を右折して「中島公園」へ入ると、「中島久次平」像の向かいに⑦がある。起伏に富む山道と平地の間に史跡や寺社が点在し、OLを楽しむにはうってつけのコースで推薦できる。

(群馬県OL協会 ☎0273-23-8073)

道が一本省略されているので要注意。マップに記されている破線は小径の方である。⑥は小道と小径の分岐から下に見える位置に立っていた。⑦はマップがある「高根荘」の南の広場の外にあり、このコースの最高地点で、標高 1565m。⑧は「美し森」で売店もあり、八ヶ岳を背にして南アルプスの勇姿を望むことができる。当日は女子高生の一団で賑やかであった。標高 1542m。⑨は広い舗装道路の右側を下ってもよい。その場合、信号からの歩測を正確にすれば、サイクリングロードの大きなカーブが疎林の間から見える。⑩も舗装道路から小さく見えている。コースの途中には清泉寮やビジターセンターなどの休憩所もあり、当日は小・中学生が学年単位で班に分かれてOLをやっていた。私の推薦コースの一つである。総合して 91 点。このコースはこれで3回目。最初は昭和52年8月。当時のマップは 1:25,000 で、「美し森」にポストは設置されていなかった。駅の付近も素朴な風景であったが、現在ではミニミニ軽井沢のようになってしまった。既報として、大高氏(O-JAPANのP1706) 富田氏(P1936) 窪田氏(P2031, 2142)があるので参照されたい。

(甲斐駒OLクラブ = 「甲陵高校内」  
☎0551-32-3050)

ライター :

〒185 国分寺市泉町 3-5-6-104

木佐木輝雄

□1994年11月22日(火)  
岐阜県 ~富田 94-16~  
「関中池」

[距離] 10 km  
[ポスト数] 10本 PC・0-MAP

JR東海道本線「岐阜」駅下車。駅前を右折し左折すると名鉄「新岐阜」駅へ出る。バスターミナルで岐阜バス「上之保」線「関スポーツランド」行き(8:15=祝日のみ、9:03, 9:53, 10:43, 11:33)で終点まで1時間5分かかかる。北東に「少年自然の家」があり、受付にマップとマスターがある。休館日は月曜と祝日だが月曜日は受付は出ている。外のマスター掲示板は空であった。平成4年12月調査のニューマップで以前のコースとは全く異なる。⑤の手前に左右へ分かれる道があるが、無視して心細い小径を下ると池畔に⑥があり、マスターより少し南になる。⑥以外のポストもマスターとは少しずれている。平坦なコースで歩きやすい。バスの本数が少ないので、ポスト記入済みマップをすでにお持ちの方は、「関東山」「岐阜医療短大」「川合車庫」行き(1時間に2, 3本)で「関東山」駅(マップの最南端からわずかに南)で下車し、⑥からスタートする方法もある。「関東山」駅から「少年自然の家」までは2kmくらいある。駅から先へ進み左折して20分くらい歩く。ポストには「平成4年用お年玉付年賀葉書等奇附金受配事業」と記されていた。

(関市立少年自然の家 ☎0575-22-0214)

□1994年11月22日(火)  
岐阜県 ~富田 94-17~  
「百年公園」

[距離] 6.5 km  
[ポスト数] 15本 PC・0-MAP

岐阜バスターミナルで「関中池」と同じ方面行きのバスに乗り、40分かって「小屋名」駅下車。少し進み、標識に従って「百年公園」へ入り、右手の建物2階の事務所にマップがある。公園は入場料無料だが、月曜日休園で、9時から17時まで。マスターは外にあるが、ポストを黒く塗りつぶしてある。マップは昭和54年調査のもので、ポスト位置も以前と変わっていないが、「受配事業」のおかげできれいになり、マークも一部が変わった。コースは全て公園内に作られているが、人通りはほとんどなかった。格別難しくないが、起伏に富む。

(百年公園事務所 ☎0575-28-2166)

□1994年11月23日(水)  
岐阜県 ~富田 94-18~  
「ファミリーパーク」

[距離] 10 km  
[ポスト数] 10本 PC・0-MAP

岐阜バスターミナルで、「武芸谷口」または「岐阜ファミリーパーク」行きのバスに乗り(7:43=祝・日運休、8:42, 10:02, 11:12, 12:32)「ファミリーパーク」駅下車。45分かかかる。北北東の「岐阜少年自然の家」(月曜日、第3日曜日、年末年始休業)にマップ、外にマスターがあり明瞭。スタートから①と、⑦から⑧が急登できつというレポートに接していたので、スタートから②を経由して①へ登ったら楽だったが、②へ回る途中から登ってもよかったかもしれない。⑦からの峠越えをやめて、⑦から引き返して山裾をぐるりと回り、⑧の「三輪祝賀真長寺」へ行ったが、単調でうんざりした。上記のバスの本数が少ないため、ポスト記入済みマップをすでにお持ちの方は、高美線「美濃」行き(7:00=祝・日運休、7:35, 8:15, 9:15, 10:25, 11:25, 12:15)で「三輪祝賀前」で下車し、⑧をスタートすると帰途遅くまでバスがある。

(岐阜市少年自然の家

☎058-229-2888)

□1994年11月24日(木)  
岐阜県 ~富田 94-19~  
「岐阜城」

[距離] 10 km  
[ポスト数] 10本 PC・0-MAP

岐阜バスターミナルから「大洞団地」「せき東山」「岐阜医療短大」「川合車庫」行きのバス(頻発)に10分乗り、「金園町八丁目」下車。少し戻り三叉路を右折すると「梅林公園」へ入る。ここがスタートでマスター掲示板はあるが中は空だ。目下、新マップ作成中と聞いた。「梅林公園」の奥に「篠ヶ谷神社」があり、右手の登山道を急登すると①、北西へ向かい、途中から青い手すりに沿って進むと「岐阜ユースホテル」に出て、②とマップとマスターがある。岐阜市内からタクシーでここへ来ることもできる。マップは昭和54年作成だが、ポストは「受配事業」のおかげできれいになり、以前と比べて位置も変わった。⑤は「岐阜城」の前で、このコースの最高峰 329m にある。⑤から⑥へ下るには2通

りの道を選ぶことができる。「馬の背登山道」入口には、「この道は危険です。老人・子供は無理です。下山注意」の掲示に恐れをなして、「めい想の小径」(家族向き)を下ったが、前半はとんでもない悪路で、「めい想」にふけるどころか転ばないよう注意するだけで精一杯であった。結局⑤から⑥へ下るのに40分かかった。ポストは見付けやすいが、登り降りがきつかった。変化に富む健脚向きPCで推薦できる。

(岐阜ユースホテル

☎058-263-6631)

□1994年12月24日(土)  
兵庫県 ~富田 94-20~  
「太子いかるが」

[距離] 9.1km

[ポスト数] 8本 PC-0-MAP

JR山陽本線「網干(ぬり)」駅下車。駅改札口を出た正面にバス時刻表がある。左手へ下りバス停から「竜野・山崎」行きで「いかるが」下車。バスは1時間に1、2本なので待ち時間が長ければ右手へ下りてタクシーで5分、1200円でもよい。「斑鳩寺」門前の「斑鳩公民館」(月曜休館)にマップとマスターがある。外のマスターも明瞭。①は「太子山公園」、②は墓地に当たるが深しにくい。③も墓地の奥。⑤にも墓地があるがポストは反対側の竹林の中にある。⑦は子供公園の片隅に支柱だけ残って、それにMと書いてあり首は見当たらなかった。⑧は左側の「太子町環境センター」のネットフェンスの中に首と支柱が別々に設置されていた。帰りは国道2号線をバスで姫路へ戻ることができると渋滞覚悟。

(斑鳩公民館 ☎0792-77-4550)

□1994年12月25日(日)  
兵庫県 ~富田 94-21~  
「木目日竜里」

[距離] 12km

[ポスト数] 8本

JR山陽新幹線「姫路」駅下車。駅正面に神姫バス乗り場がある。「林田・山崎・戸倉」行き(7:40, 8:00, 8:50, 9:20, 9:50など)で「林田」下車。コース一覧表によれば、マップはバス停前の「林田デパート」にあるはずだが、きれいなコンビニやレストランは並んでいるものの「デパート」など見当たらない。日下部智氏から以前いただいたポスト記入済み

マップでスタートした。マップは古いので1:25,000「龍野」も利用した。②は「玉越工業」の巨大な建物の東、墓場の先にある。③は洪水により流されたためなかった。④は「榎(ぬ)神社」境内。⑤は神社へ登らずその道へ入る。③以外のポストは完全だがコースが平坦でだらだらと長く退屈する。

(兵庫県OL委員会 ☎078-361-8086)

□1995年2月19日(日)  
群馬県 No.140 ~富田 95-1~

「甘楽の里  
見晴しコース」

[距離] 10km

[ポスト数] 10本 PC-0-MAP

JR高崎線「高崎」駅で上信電鉄の乗り換えて「上州福島」駅下車。駅に甘楽の里3コース共通のマップがある。駅前にこのコースのマスター、他の2コースのマスターは1.3km南の甘楽町役場にあるその場所はマップですぐ分かる。②と③の間に高速道路が走っており、さらに、文化会館や陸上競技場が新設されたため、昭和62年当時と比べると景色が一変している。④は「八幡山公園」にある。⑤はマスターより少し南にあるようだ。⑦は「紅葉山公園」、⑧は「笹森森林稲荷神社」にある。「甘楽町役場」に寄って139・141コースのマップを見たら、141コースは以前の③と④のポストはゴルフ場造成のため閉鎖されて11ポストが9ポストになっていた。

(上信電鉄「上州福島」駅

☎0274-74-3170)

□1995年3月11日(土)  
大阪府 ~富田 95-2~  
「雀鳥見緑地」

[距離] 4.5km

[ポスト数] 20本 PC-0-MAP

JR大阪環状線「京橋」駅で地下鉄鶴見緑地線に乗り換えて「鶴見緑地」駅下車。地上へ出ると右手に「花博記念公園・鶴見緑地」が見える。園内へ入り直進し池にぶつかり、左にレストハウス「つるみ」(10時より無休)がありマップがおいてある。1993年7月調査の新しいマップだ。マスターは少し離れた所にあるがすぐ分かる。スコアOLとPCの2種類あり。⑥は工事中で立入り禁止だった。コースの半分は起伏に富み、最短距

離の選択に迷う所があったが、狭い公園なので1時間で終了した。園内には「咲くやこの花館」や「展望塔」がある。

(大阪府OL委員会 ☎06-942-5146)

□1995年3月11日(土)  
大阪府 ~富田 95-3~  
「大阪城公園」

[距離] 8km

[ポスト数] 24本 PC-0-MAP

JR大阪環状線「森ノ宮」駅下車。天王寺へ向かって右手に「大阪城公園」がある。園内を北西へ進み、噴水の前の「杉山売店」にポスト位置記入済みのマップ、マスターは少し離れた所にあるが、番号が記入されていない。このほかマップ販売所は3カ所、マスターは2カ所にあるが、私にはここが最も便利と思われた。公園敷地は広大であり、外堀と内堀がじゃまをするので、ポストを回る順序をうまく計画しないと時間ばかりかかってしまう。24のポストは赤色が若干あせたものの、破損やいたずら書きなどなく感心した。また、このような便利な場所にPCをうまく設置してくれた大阪府OL委員会に感謝したい。

(大阪府OL委員会 ☎06-942-5146)

□1995年3月12日(日)  
兵庫県 ~富田 95-4~  
「仁川・甲山」

[距離] 10km

[ポスト数] 9本 PC-0-MAP

阪急電鉄今津線「仁川」駅下車。1991年11月にも来ているので、マップやマスターを探さなくてコースへすぐ入った。1995年3月17日の阪神大震災により、コースに損傷が生じていないかどうかを調べるのが再訪の目的である。⑨は今回崖崩れを起こした仁川百合野町にあるのが最も心配であった。仁川に沿って歩き、水道送水管の所で右折すれば①、左折すれば⑨へ達する。逆回りすることとして⑨を発見した。崖崩れは僅か200m先まで来ていた。近くの「阪神水道企業団甲山事業所」(浄水所)の間を通過して⑧へ至る道に変化はないが、⑦と⑥の間にある「神呪寺」の灯籠の笠がかなり落ちていた。③は山火事のため前回なかった。今回は割愛した。「仁川ハイツ」は休業中。近くのテニスコースからは大震災を忘れようとするのか黄色い喚声があがっていた。①を過ぎて仁川へ下りて行く



と急な崖に民家が建っているが、こちら側はいずれも健在であった。崖崩れの場所は整地が進んでおり、片隅に積まれた自動車や家具の残骸が12戸を破壊し、34人の死者を出した悲劇を物語っていた。本来は変化に富む楽しいコースだと思う。

(兵庫県O.L委員会 ☎078-361-8086)

□1995年3月13日(月)  
大阪府 ~富田 95-5~  
「大泉緑地」

[距離] 3.8km  
[ポスト数] 20本 PC・O-MAP

地下鉄御堂筋線「新金岡」駅下車。案内に従って長い地下道を進んで地上へ出るとタクシーが待っており、3分で「大泉緑地」の入口に着く。歩くと約1kmで10分かかる。入口に案内図があるから「花と緑の相談所」(9時開所・火曜日年末年始休み)を訪ねると、そこにマップと利用ガイドがあり、ガイドの中にマスターが掲載されている。外にもマスターがあるがポスト番号が付いていない。平坦な公園なので45分で終わった。  
(大阪府O.L委員会 ☎06-942-5146)

□1995年3月13日(月)  
大阪府 ~富田 95-6~  
「長居公園」

[距離] 6km  
[ポスト数] 20本 PC・O-MAP

JR阪和線または地下鉄御堂筋線「長居」駅下車。すぐ近くに長居公園がある。入って右手の売店にポスト記入済みのマップ、横にマスターがある。両者を比べてみたらポスト⑤の場所が少し違っていった。マップの方が正しい。公園内は「平成9年なみはや国体」に備えて、あちこちで工事中なのでポスト間を直進できない。ポストの頭が落ちていた。マップの取扱所兼スタートは他に2ヵ所あるが、北東端は工事中で撤去されており、植物園前の売店は開いていた。植物園(月曜日休園)の中にも9ポストのショートコースがある。  
(大阪府O.L委員会 ☎06-942-5146)

□1995年3月21日(祝)  
神奈川県 ~富田 95-7~  
「藤野園芸ランド」

[距離] 10km  
[ポスト数] 9本 PC・O-MAP

JR中央線「藤野」駅下車。駅前左の「相模湖トリム研修センター」の案内図に当ランドの位置が記載されているが間違っている。駅前を下りて国道で右折すると指導線があるから、それに従い「弁天橋」を渡り左折、2回右折するとランドの近くへ出る。徒歩で20分かかる。マップとマスターは「藤野園芸ランド」にあり、年中無休で9時から17時まで。事務所が無人のときはランド入口の家を訪ねるとよい。94年春にポストを更新し、位置の変わったものもある。ポストには全て「平成5年用お年玉付年賀葉書寄附金受配事業」と記されている。⑤は戻りとなる。⑥は不明。眺めのよい静かなコースだ。

(藤野園芸ランド運営協議会事務所  
☎0426-87-3749)

□1995年4月1日(土)  
神奈川県 ~富田 95-8~  
「秦里弓弘法山」

[距離] 10km  
[ポスト数] 10本 PC・O-MAP

小田急電鉄「鶴巻温泉」駅下車。駅前売店にマップ、その近くにマスターがある。マップは1992年2月調査の新しいもの。ただしポストの位置や記号は前と変わらない。昭和61年から64年にかけて、①から②の途中が工事中であったが、今はすべて終わっている。②から⑤までが弘法山への登りで、⑤の付近には花見客が出ていたが桜はまだ蕾の段階であった。⑥から⑦へ向かう道は行き止まりとなっていたため、いったん引き返した。⑧は見付けにくい、「極楽寺」正門左にちよごと立っている。

(神奈川県O.L協会 ☎045-201-1111)

□1995年4月8日(土)  
三重県 ~富田 95-9~  
「育長里予」

[距離] 10km  
[ポスト数] 9本 PC・O-MAP

JR紀勢本線「熊野市」駅下車。タクシーで隣の「有井」駅へ行ってもらった。

マスターは駅前があるが、ポスト記号は見えない。マップは駅前「山門商店」となっているが周囲に商店は一軒もない。やむを得ず1989年に日下部智氏にいただいたポスト記入済みのマップ(1978年調査)で回ることとした。①は「花の窟神社」近くにある。この神社は高さ約70mの大岸壁をご神体としている。⑤は不明。⑥へ行く途中の「熊野オレンジ」は休業中なのか立入禁止となっていた。⑦⑧も不明で、このコースはどうも放棄されたような気がする。熊野灘に面した風光明媚な場所にあるのにもったいないが、現状ではお勧めできない。

(三重県O.L協会 ☎0592-24-2404)

□1995年4月9日(日)  
三重県 ~富田 95-10~  
「玉塚」

[距離] 10km  
[ポスト数] 10本 PC・O-MAP

JR参宮線「田丸」駅下車。マップ配布所は玉塚町役場前の「村山龍平記念館」となっているが何もない。スタート地点とされている「玉塚町農村環境改善センター」を探して①の方へ向かったら指導線に分かった。センターの手前に松阪O.LCが1994年7月に作成したマスターがあったが、マップが折れて半分しか見えない。同センター(無休、☎059658-6331)の受付にマップとマスターがあった。ここには玉塚町教育委員会社会教育課も同居している。ここへ行くには人に聞くか、タクシーに乗るしかないであろう。徒歩10分かかる。駅前の案内図には同センターは掲載されていないが「総合グラウンド」の北側にある。マップは1985年調査のもの。私は1984年に一度踏破したが、一部のポストの位置が少し変わった。①から⑤までは田と丘陵地帯に点在する池を巡る変化に富んだコースとなっており、マップにない小径も多く緊張が続く。⑥から⑩までは単調な道になる。玉塚町役場近くに田丸城址があり、桜がちょうど満開で花見客が出ていた。全ポストが健在できれいになっていた。PCにはうってつけのコースで大いに推薦できる。

(三重県O.L協会 ☎0592-24-2404)

ルート:  
〒225  
横浜市青葉区あざみ野 1-12-13-303  
富田 徹



This map is a copyrighted work, compiled from field surveys and computer drawing, and may not be copied or reproduced without permission.  
 Copyright: Veteran World Cup '95 Organizing Committee.

### ORIENTEERING MAP

SURVEY 6-10 / 1994

YURY CHEGAROVSKY

COMPUTER MAP DRAWING 3 / 1995

PRO ORIENTEERING  
 Anjalankoski, Finland

PRINTING 4 / 1995

KAUHAVAN SANOMALEHTI OY, Finland  
 ...through PRO's map printing service.

[本誌掲載のため約82%に縮小]

## スキー・オリエンテーリング世界選手権大会

## 日本代表選手等選考会参加者募集

日本スキーオリエンテーリング研究会では、「'96 SKI-O世界選手権大会」に日本チームを参加させるための準備を進めておりますが、代表選手等の決定にあたって公正を期すため、下記のとおり参加希望者の選考会を開催することになりました。

【日時】平成7年12月16日(土)～17日(日)  
 【会場】山形県蔵王坊平ライザスキー・ワールド  
 【主催】山形県オリエンテーリング協会 [主 管] 日本スキーオリエンテーリング研究会

## ○選手

- 【選考人数】男子 6 名 女子 6 名  
 【選考方法】年齢を問わず、主催者が設置したスキー・オリエンテーリングコースを通過ゴールした成績上位者および主催者の推薦した者。  
 【応募資格】(1) 平成6年度および平成7年度、日本オリエンテーリング協会主催または公認オリエンテーリング大会に、EクラスまたはAクラスに参加し規定時間以内の者。  
 (2) クロスカントリースキーの走行能力が、クロスカントリーコースをフリーで男子5分/km以内で20km、女子は7分/km以内で15km走行できる者。  
 (3) SAJ登録選手については、O-MAP(オリエンテーリング用地図)を独自で判読できる者。  
 【応募条件】原則として以下の条件を満たす者。  
 (1) 日本国籍を有し有効な旅券を所持または取得できる者。  
 (2) 旅費および参加費等を負担できる者。  
 (3) 指定する大会等(2月10日～12日)および合宿(予定1月13日～15日)に参加できる者。  
 (4) 日本チームの一員として、IOFおよび主催国機関ならびにチームリーダーの指示に服従できる者。

※「SKI-O・WOC選手選考会参加申込書」用紙は本誌カレンダー裏にプリントします。

## ○トレーナー&amp;サポーター

- 【選考】若干名、性別・年齢不問、自薦・他薦にかかわらず主催者と面談のうえ、相互に同意した者とし、条件は(1)を除き選手に準じる。  
 【申込方法】① 参加費11,000円(一泊3食)を「郵便振替」で払い込む。  
 口座番号: 00160-1-198760 加入者名: 武石 雄市  
 ② 申込書に必要事項を記入し、返信用封筒に80円切手を貼り、下記宛に申しこむ。  
 【申込先】〒999-37 山形県東根市大字東根乙66-10 武石雄市 方  
 「日本スキーオリエンテーリング研究会」  
 【申込締切】平成7年12月6日 必着。  
 【その他】(1) 申込者に交通案内、宿泊先、日程等の所要事項を連絡します。  
 (2) 参加取消しに際しては、参加費を「SKI-O WOC」の日本チーム賛助金として申し受けし、返金いたしかねますのでご注意ください。  
 【問合せ先】 武石 雄市 TEL & FAX : 0237-43-5106 または  
 高島 和宏 TEL & FAX : 022-277-4882

「O-JAPAN」の6月号から、目次ページに「SKI-ORIENTEERING TO WINTER OLYMPICS」のロゴマークでもご承知のように、最近、IOFのキャンペーンが活発です。それに呼応するように、1998年長野オリンピック文化プログラムとして、真田町菅平高原において「国際スキー・オリエンテーリング大会」が企画されています。SKI-O・WOCは歴史は古いのですが、日本はチームとして参加した経験が無く、過去に1980年1名の個人参加が記録されているのみです。当SKI-O研究会も、発足して日が浅いので、あらゆる面で経験不足ですが、国内外の情報を積極的に収集して、日本におけるSKI-Oの普及・定着に努力したいと思っております。この度のSKI-O・WOC参加に関しては、事前の準備不足や選手等の選考会が唐突になったことは否めませんが、今後も、JOAにそのような能力機関が設置されるまでは、「日本SKI-O研究会」があらゆる関係者の協力を得て、最も公正な選考方法を研究していきたいと思っております。

## &lt;参考&gt;

1996年スキー・オリエンテーリング世界選手権  
 期日: 1996年2月19～24日(月～土) 開催地: リハム(ルウェー) 種目および距離: 17km・ディスタス(男子22～24km, 女子13～15km), ショート・ディスタス(男子8km, 女子6km), リー(男子4×10km, 女子3×7km) 参加費: NOK 3950+600(約7万円=現地交通費・宿泊費・食費含む) 渡航費: 約13万円 最終申込締切: 96年1月8日

【賛助金募集】代表選手の負担を軽減するため「日本SKI-O研究会」として、賛助金のお願いをいたします。一口1,000円として、三口以上。郵便振替にて次の口座にお振り込みください。  
 口座番号: 00160-1-198760 加入者名: 武石雄市 ◆通信欄に「SKI-O賛助金」と記入してください。

O-JAPAN	発行人/田口 昭子	: 購読料	: 編集責任者/田口 肇	
〒234 横浜市港南区日野南7-9-5		: '95.4月～'96.3月	¥3,600	: Chief Editor:
TEL. 045-891-7004 FAX. 045-891-2500		: (高校生以下) 95年度1年分	¥2,400	: Hajime Taguchi
分室=Annex TEL. 0287-77-1977		: 777 代表者 95年度1年分	¥3,000	: Editorial Address:
NIFTY-Serve ID VYE01053		1部あたり頒布価格	¥300	: 7-9-5, Hino-minami, Kohnan-ku
郵便振替口座(番号) 00270-9-46870 (加入者名) O-JAPAN 編集部				: Yokohama, 233 Japan